

辺野古土砂北九州

発行…2021年3月・No.16



報告をして
いる具志堅
さん

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんが、沖縄県庁前の県民広場で、6日間のハンガーストライキを行ないました。座込みテントには朝から大勢の人たちが集まり、具志堅さんを激励し続けました。11ページに関係記事。(写真はチョイさんの沖縄日記より転載)

《目次》

- 【日本の基地】辺野古新基地に「水陸機動団」常駐密約(末浪靖司)…………… 2 ページ
- 【沖縄から】違法工事を中止し、予算をコロナ対策へ(宮城義弘)…………… 7 ページ
- 【エッセイ】「山の開墾集落の暮らし・藍染料づくり」(浦島悦子)…………… 10 ページ
- 【沖縄から】具志堅さんハンストで抗議(チョイさんの沖縄日記より)…………… 11 ページ
- 【地位協定・合同委員会・安保を学ぶ天久学習会】終章まとめ…………… 12 ページ
- お知らせ…………… 14 ページ

写真提供…北上田毅・末浪靖司・宮城義弘・八記久美子・他(敬称略)

発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会



2015
年

辺野古新基地に「水陸機動団」常駐 陸上自衛隊と米海兵隊が極秘合意していた

新基地完成すれば、沖縄の要塞化に道を開くことに

日本平和委員会常任理事 末浪靖司

《1》米陸軍トップ、陸自総隊と一体の水陸機動団つくれと要求

■デニー知事怒りあらわ

政府が建設を強行している辺野古新基地に、陸上自衛隊の水陸機動団を常駐させることで、陸上自衛隊と米海兵隊が、2015年に極秘に合意していたと、沖縄タイムスと共同通信が報じました。

沖縄タイムス1月25日付によれば、秘密合意は「普天間飛行場の代替施設」という従来の政府説明を根底からくつがえし、「新基地は両者一体化の中核拠点となり、その完成は沖縄が将来にわたって要塞として利用される事態に道を開く」こととなります。

日米軍事当局が結んだこの秘密合意に対して、沖縄県の玉城デニー知事は「まったく聞いていない。認められない」と怒りをあらわにしています。県当局は2月22日に沖縄防衛局に対して、陸自と米海兵隊の間に共同使用の合意があったのか、環境に与える影響はどうか、共同使用で運用方法が変わらないかと問いました。

■2012年に交渉開始、2015年に合意

沖縄タイムスによると、陸自幕僚監部(陸幕)は、2012年に幹部を米軍キャンプ・シュワブに派遣して、海兵隊と交渉を開始し、15年には当時の岩田清文陸幕長が、ニコルソン在日米海兵隊司令官と合意していました。

水陸機動団が設立されたのは、2018年3月27日です。自衛隊はその3年以上前に、



筆者の末浪靖司さん

水陸機動団を沖縄に配備する密約を米海兵隊と結び、在沖米軍や在沖海兵隊のトップはその駐留基地として、辺野古と一体のキャンプ・シュワブをあげていたのです。

菅義偉内閣の加藤勝信官房長官は、「報道のような計画は有していない」といいますが通用しません。ニコルソンは2017年11月16日にも、在沖米軍トップの四軍調整官として、水陸機動団が将来的に沖縄に配備され、キャンプ・シュワブかキャンプ・ハンセンが想定されると述べました。

■防衛省内部文書によれば

筆者が入手した防衛省内部文書によれば、ニコルソンの言明は、米国防総省(ペンタゴン)で2014年12月に行われた、米軍首脳と自衛隊制服組トップの会談をうけたものでした。

「取扱嚴重注意」とページ毎に書かれた同

文書は、当時の河野克俊統合幕僚長(現在は軍事評論家)が、デンプシー統合参謀本部議長をはじめ、陸軍、海軍、空軍、海兵隊それぞれのトップとの会話を記録したものです。文書によれば、河野統幕長は海兵隊や陸軍のトップと、水陸機動団の発足や役割について話し合っていました。



ニコルソン
在日米海兵隊司令官当時

■「助言」…実質は指揮するということ

ダンフォード海兵隊司令官との会談では、河野統幕長が「自衛隊においては水陸機動旅団を創設する」と述べました。対して、ダンフォードは「沖縄にはⅢ MEF(メフ)が展開しており、ウイスラー司令官より、オスプレイの運用要領や水陸両用戦について、

助言を受けることができる」とし、さらに「辺野古への移転やキャンプ・ハンセン、キャンプ・シュワブでの共同使用が実現すれば、米海兵隊と陸上自衛隊との協力が一層深化する」と述べました。

ウイスラーは、当時の在沖海兵隊司令官です。米海兵隊のトップは、2018年3月につくられた水陸機動団について、その3年以上前に、在沖海兵隊司令官がオスプレイの運用や水陸両用戦について「助言」と述べていたのです。助言といいますが、実質は指揮するということです。

■陸自総隊は海外派兵専門の部隊

またオディエルノ陸軍参謀総長は、「陸自総隊の設立や水陸両用部隊の設立等、大きな改変の時期を迎えている」と河野統幕長に述べました。陸自総隊は、陸上自衛隊の各方面隊のうえにたつ、海外派兵専門の部隊です。米軍のトランスフォーメーション(変革)にあわせた、自衛隊の組織改編のなかでつくられました。米陸軍トップは、この陸自総隊と一体のものとして、水陸両用戦のための軍隊、つまり水陸機動団をつくれと要求したのです。

《2》 辺野古新基地に水陸機動団駐留…日米政府の計画は

■正式名称「陸自水陸両用緊急遠征旅団」

ダンフォードが述べた「Ⅲ MEF(メフ)」というのは、Ⅲ Marine Expeditionary Force、第三海兵遠征軍のことです。最新軍事用語英和辞典で Expeditionary Force を引くと、「進行軍、(外国)派遣軍、遠征軍<戦>、外国で特定の目的を達成するため編成された軍隊」とあります。つまり、侵攻してくる敵を迎え撃って自国を防衛するよりは、海外に出て行って戦う軍隊です。実際、これまで海兵隊が沖縄から出撃したのは、ベトナム戦争やイラク戦争など、米国の侵略戦争でした。

陸自の水陸機動団は、このような米第三

海兵隊と一体のものとしてつくられました。水陸機動団というのは防衛省がつけた名前です。正しくは、Japan Ground Self-Defense Force's Amphibious Rapid Deployment Brigade、陸自水陸両用緊急遠征旅団です。正式の名前が英



共同訓練の様子

語なのは、米国が作らせたものだからです。ここでは、便宜的に水陸機動団と呼びましょう。

■共同訓練で敵前上陸の先陣切った

水陸機動団は、今年1月28日から2月6日まで、沖縄とその周辺海域で、米海兵隊第31海兵機動遠征隊、米海軍第11水陸両用戦隊と共同演習を行いました。防衛省発表によれば、「ポートによる着上陸やヘリの、発着艦等の水陸両用作戦に係る戦時技量、及び日米共同作戦能力を向上する訓練」、つまり、米海兵隊や米海軍水陸両用隊と、一体になって上陸作戦する共同演習です。

水陸機動団は、米軍との共同演習を海外でも繰り返しています。米カリフォルニア州のキャンプ・ペンドルトンと、その周辺の広大な海域で行われている、日米統合演習「ドーン・ブリッツ」(夜明けの電撃戦)は、上陸用水陸両用機やオスプレイが、ある場合にはF35B 戦闘機などの支援をうけて行う、総合的な強襲上陸作戦です。水陸機動団は輸送艦で現場に運ばれ、敵前上陸の先陣を切りました。

■犠牲者が出ることも想定し

米海兵隊のホーム・ページによれば、水陸機動団はキャンプ・ハンセンや金武(きん)ブルー・ビーチ訓練場などで、米第31海兵機動遠征隊(31st MEU)と共同演習を繰り返しています。2019年4月には、インド太平洋地域における先陣危機対応戦力として、一連の広範な軍事作戦を実行する柔軟致死戦力を提供しました。つまり先陣を切って敵占領地の危険に対応し、あらゆる

戦術を駆使し、犠牲者が出ることを想定した演習でした。

■金武ブルー・ビーチで訓練繰り返す

沖縄本島中部にある海兵隊基地キャンプ・ハンセンは、キャンプ・シュワブと隣合わせになっています。キャンプ・ハンセンの出先にあって、太平洋に突き出た金武ブルー・ビーチでは、水陸機動団がすでに米第31海兵機動遠征隊と、上陸用舟艇やホバー・クラフトなどによる強襲上陸共同訓練を繰り返しています。キャンプ・シュワブと一体の辺野古新基地が作られれば、それは自衛隊にとっても重要な海外派兵基地になります。

今年2月には、戦闘急襲用ゴム舟艇により、陸自の第1ヘリコプター輸送旅団とともに、上陸演習をしました。米軍指揮下の多国籍軍に参加し、米海兵隊と同じような役割か、あるいはその補助部隊として期待されているわけです。

■政府は2024年度予算で

辺野古新基地ができれば、岸壁の長さは当初の計画より少し短い241メートルですが、海上自衛隊の輸送艦は十分に接岸できます。長崎県佐世保の相浦にある水陸機動団の本部からは、水陸機動団を輸送艦で辺野古に部隊を運ぶことも、そこからさらに地球上の紛争地域に送り出すこともできます。政府は2024年度予算で、陸上自衛隊の輸送艦を導入する方針を固めており、水陸機動団の搬送も視野に入れていきます(沖縄タイムス2月24日付)。



水陸機動団の水陸戦闘車 AAV7 は鋼鉄の塊。1 車両に乗員 3 名、兵員 25 名又は 4.5 t の貨物を載せ、水面を自転車と同じ速度で浮上航行できる。上陸後はそのまま素早く侵攻に。

■水陸機動団、すでに海外の訓練に参加

水陸機動団はすでに、海上自衛隊のヘリ搭載型護衛艦「いずも」に乗艦し、長期にわたり海外にでています。南シナ海では、米空母ロナルド・レーガンとの日米共同訓練にも参加しています。辺野古新基地に配備された水陸機動団が、海外で米軍の強襲

上陸作戦に加わる可能性は十分にあります。米軍はそのためにこそ、陸自の水陸機動団設立に動いたとみるべきでしょう。

辺野古新基地をつくり、そこに水陸機動団を駐留させる日米政府の計画は、日本を戦争に引き込む重大な危険の一つになっています。

《3》指揮権を他国の司令官にゆだねた吉田首相

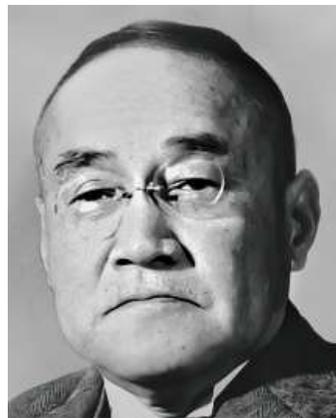
■根本に日米指揮権密約が

日米間には、米軍の基地や自衛隊との共同に関して、多くの密約が結ばれています。犯罪米兵を裁判にかけない刑事裁判権密約や、米軍の核兵器持ち込みを問題にしない核密約は、よく知られています。水陸機動団を辺野古新基地に配備する日米密約が結ばれ、水陸機動団と米海兵隊が共同作戦するという、新たな事態の根本には、自衛隊が米軍指揮下で戦闘することを米政府に約束した、日米指揮権密約があります。

■吉田首相が米大使に口頭で約束

国民の生命・財産を守るはずの軍隊の指揮権を、他国の司令官にゆだねるといふ、恐るべき主権放棄の密約が、なぜ、いかにして結ばれたのか。筆者(末浪)は米メリーランド州カレッジパークの国立公文書館に通って調査し、米政府の文書により、そのナゾを解きました(『日米指揮権密約の研究』創元社)。

第二次世界大戦後、日本を占領統治した米軍が、1950年に日本政府に再軍備を命じたことはよく知られています。そうして作らせた軍隊を、米軍司令官が指揮して、米国の戦争に使うことはまだあまり知られていませんが、これは1952年2月の行政協定交渉の米側代表の文書によって、確認できる事実です。日本側は米側のそうした要求を、文書にしないという条件で受け入れ、同年7月に吉田首相が米大使に口頭で約束しました。



指揮権密約を結んだ吉田茂首相

■多い、沖縄に関する密約

こうして結ばれた日米指揮権密約は、1960年の安保改定で、行政協定から安保条約に格上げされ、現に実行されています。ますます激しくなる日米共同演習は、米軍の指揮を自衛隊に貫徹する訓練でもあるのです。

また、多くの日米密約のなかでも、沖縄に関する密約はとりわけ多く結ばれています。よく知られているのは、1972年の沖縄返還時に結ばれた密約で、返還に際して米国が負担するべき土地原状回復費用を日本側が肩代わりする密約が結ばれました。返還後も米軍が核兵器を沖縄に持ち込むことを認めた密約もよく知られています。

■久保・カーチス協定で二重の重圧が

密約ではありませんが、本稿で問題にしている沖縄の自衛隊と米軍の関係では、日米沖縄協定が1971年6月17日に調印された直後に、「日本国による沖縄局地防衛責

任の引き受けに関する取極」が結ばれました。調印者の名前をとって、久保・カーチス協定と呼ばれています。これにより、沖縄に自衛隊が送られました。沖縄県民は、米軍支配から解放されるどころか、米軍プラス自衛隊の重圧にさらされることになりました。いまや日本の全域で、基地の共用や共同訓練を通じて、米軍と自衛隊の一体化が急速に進んでおり、それは沖縄県の南西諸島でとりわけ激しくなっています。

■米軍の要求を日本政府が実行する機関…日米合同委員会

さらに、日米間の密約をつくり運用するうえで、重要な役割をはたしている機関として、日米合同委員会があります。米側は在日米軍司令部の参謀長が代表で、同司令部の陸海空参謀長ら軍人が出席しますが、

日本側から出席するのは、代表の外務省北米局長のほか各省庁の幹部で、事実上、米軍の要求を日本政府が実行する機関です。会議は非公開で、その決定は国会にも報告されませんから、密約を作っているとされています。

日米合同委員会は、占領下に米軍が必要とすることを日本政府にやらせるためにつくった「予備作業班」を衣替えしたものです。このような機関があることは、日本がまだ米軍占領下と似た状況にあることを示しています。美しい珊瑚の海を埋め立てて新基地をつくり、水陸機動団を配備して、米軍が敵地に攻めこむ戦闘の先陣を切らせようというのは、そのことを端的に示しています。(すえなみやすし)



日米合同委員会が開かれる会場の一つ「ニュー山王ホテル」(写真・上)。このホテルの管理者は米海軍。米軍の参加者は、麻布米軍ヘリ基地(写真・下)までヘリで来て、車で数分の「ニュー山王ホテル」に向かうという。



末浪靖司さんの著書「日米指揮権密約」の研究。沢山の密約が結ばれていく様子が、公文書の裏付けとともに紹介されている。

●日米合同委員会の第1回会合が開かれたのは1952年5月7日。それから今日まで、2週間に1回の会合は続けられており、「その回数は1600回以上」と書いた書籍もある。

※日米地位協定の法的根拠である行政協定は、1960年の日米安保改定で地位協定に変わりました。

※日米合同委員会は「日米地位協定」の実施を日米間で具体化する機関です。表向きは「対等」ですが、実際は、米軍の要求を聞く場となっています。

沖縄防衛局…耐震性の検討に精度の低い「即時公開データ」使用 違法工事を中止し、予算をコロナ対策へ

新基地建設反対名護共同センタースタッフ 宮城義弘

■ずさんな防衛省資料

沖縄県名護市で菅政権と自民・公明党が強行する米軍辺野古新基地建設を巡り、防衛省沖縄防衛局が沖縄県に提出した設計変更申請で、重大なデータミスが見つかった。米軍辺野古新基地の耐震性を設計する際に、品質のチェックを経ていない地震データを使用していたことが、琉球新報の取材で判明した。

防衛省沖縄防衛局は、米軍辺野古新基地の耐震性を検討するため、防災科学技術研究所が運用する K-1NET(全国強震観測網)が公開しているデータの一つ、自動的に公開される「即時公開データ」を使用した。「即時公開データ」は品質チェックを受けたデータと違い、地震以外のノイズや強震計の故障による波形なども、データに含まれる場合がある。

防衛省沖縄防衛局が公表した資料によると、米軍辺野古新基地の耐震性の検討材料となる地震動を算定するため、防衛省沖縄防衛局は、周囲の観測データと比較することを目的に、2008年10月1日から09年2月27日の約5か月間、辺野古で地震を調査した。この間5回の地震を測定したとし

ている。うち2回は、名護市役所周辺の K-1NET 名護で観測されたとしている。

だが同27日現在、K-1NET のホームページで地震を検索すると、1 件の記録しか確認できない。防衛省沖縄防衛局が示す資料との整合性は確認できなかった。

この件について、琉球新報の取材に防衛省は、当時ホームページに掲載されていた「即時公開データ」を使ったと説明、「公開されたデータを使うことは問題ない」と開き直った。

防衛省は、「K-1NET での2件の地震測定」も、精度の低い「即時公開データ」を使用した件について口を噤んだまま、いっさい説明がない。

■軟弱地盤に触れず

米軍辺野古新基地の埋め立て工事は、その根幹にかかわる「マヨネーズ状」の軟弱地盤問題を放置したまま、菅政権は強行する姿勢を示した。

防衛省は昨年4月21日、名護市辺野古の新基地で大浦湾側の軟弱地盤の改良工事に伴う設計概要の変更承認申請書を、沖縄県に提出した。



沖縄ドローンプロジェクトの写真。撮影は今年の夏頃に、護岸のかさ上げ工事が行われている写真。滑走路の高さは、最終的に10mになる。

横暴勝手を決め込み沖縄県に迫る菅政権に、玉城デニー沖縄県知事は「沖縄県が求める対話に応じることなく、県民に十分な説明もないまま、埋め立て工事の手続きを一方的に進めることは到底納得できない」と強く批判した。

埋め立て工事の最大の難関は最深部分が海面から約90mに達する「マヨネーズ状」とされる軟弱地盤の改良工事。現在の作業船で改良工事ができるのは70m程度まで、今回の地盤改良は世界でも例をみない難工事になる。

防衛省は70mより下は「非常に堅い粘土層」と説明する。最大深度90mの「B27」地点の強度は、約150～約750m離れた3地点の調査から類推したもの。「B27」地点では、軟弱地盤を示す受注業者の実測データが存在する。新潟大学の立石雅昭名誉教授(地質学)らが業者の実測データをもとに護岸の安定性を調べた結果、国土交通省が定める港湾施設の基準を満たさず、巨大護岸が崩壊する危険性が明らかになっている。

菅政権は、業者の調査は簡易な調査で、強度の検討に適さない、として認めていない。そうであるならば、90m地点をボーリング調査すべきである。設計概要の変更承認申請書には、その根幹にかかわる「マヨネーズ状」の軟弱地盤問題に触れていない。

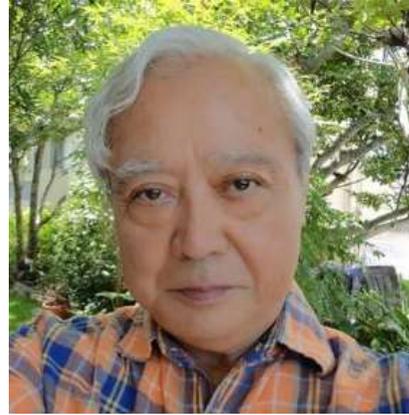
■国際世論に挑戦

大規模な地盤工事が環境に与える影響は極めて大きい。

安倍政権は環境影響評価(アセスメント)をやり直す必要はないとしている。だが、名護市辺野古の新基地建設を巡る住民らの抗告訴訟で、那覇地裁は判決のなかで、軟弱地盤の改良工事に伴う設計変更の際、改めて環境影響評価を実施する必要があるとの見解を示した。

大浦湾には262種の絶滅危惧種を含む5000種の生き物が生息している。地球上でも稀な、生物多様性に富んだ海域である。

世界の科学者らでつくる非政府組織(N



筆者の宮城義弘さん

GO)は2019年10月、世界的にも重要な海域を認定する「ホープスポット」(希望の海)に、辺野古・大浦湾一帯の44.5平方キロメートルを認定した。

「ホープスポット」はアメリカを拠点とするNGO「ミッション・ブルー」が認定するもので、現在、世界で110カ所以上が認められている。海洋学者で米海洋大気局の主任科学者も務めたシルビア・アール氏が、海洋保護の世界的な意識を高めようと2009年に立ち上げた。

アール氏は辺野古・大浦湾一帯の重要性を強調した上で「海の多様な生態系はわれわれの生存の基礎・基盤・支えになる」と強調。新基地建設工事について「かけがえのない自然を大事に思うみなさんが疑問の声を上げる機会だ」とのメッセージを寄せた。

地球環境を守ることは21世紀の大テーマである。米軍辺野古新基地の建設強行は、国際世論への挑戦であり、愚行というほかない。

■新基地予算をコロナ対策に

米軍辺野古新基地建設に伴う警備費用が、2015年の工事開始以来508億円にのぼったことが明らかになった。新基地建設に反対する県民の運動に対する監視・弾圧に、巨額の税金が注ぎ込まれている。

防衛省沖縄防衛局によると、陸上と海上での警備業務をそれぞれ業者と契約してお

り、2015年10月の辺野古新基地「本体工事」着工に先立つ15年9月から20年12月までの期間の契約金額は、陸上警備業務で9件、約221億円。海上警備業務は6件、約208億円で計15件、約429億円となる。単純計算で、1日あたり約2217万円に達する。

これに加え、埋め立て工事契約のなかでも警備業務を実施。防衛省沖縄防衛局は、「工事全体の金額から警備にかかる金額を正確に示すことは困難」としつつ、算出した警備業務にかかる契約金額相当額は、約79億円だと明らかにした。この金額を含めれば、警備費用は合計508億円に達し、去年の1日あたりの警備費はさらに膨れ上がる。

現在、陸上警備は、工事車両が入り出す辺野古の米軍キャンプ・シュワブゲート前と、土砂が搬出されている本部港塩川地区（本部町）、名護市安和で行われている。

さらに、防衛省沖縄防衛局は軟弱地盤改良に伴う設計変更申請で、埋め立て土砂の採取地を県内全域の9市町村に拡大することを計画。沖縄防衛局は、埋め立て

工事の総工費約9300億円のうち、警備費を約1700億円と見積もる。県内全域で警備が拡大し、いっそう税金が投じられる可能性がある。

ところで、米軍辺野古新基地の総工費は、当初計画2400億円の2.4倍、約9800億円に膨らんでいる。沖縄県では、総工費はさらに膨らみ2兆4000億円に達すると試算している。

名護市辺野古の抗議の座り込み現場には「違法工事を中止し 予算をコロナ対策へ」と書かれたノボリが立っている。

新型コロナによる死者8143人、感染者43万6717人(3月4日現在)。相次ぐ企業倒産と首切り、失業、生活苦による自殺など未曾有事態が続くいま、「違法工事を中止し 予算をコロナ対策へ」は、国民の真ッ当な要求である。立憲民主党、日本共産党は今国会に、2021年度予算案の組み替え案を共同で提出している。米軍辺野古新基地建設予算は真ッ先に見直されるべきである。

(みやぎよしひろ)

- ガラパゴス諸島…2300種
- 世界遺産の知床…4200種
- 大浦湾の海洋生物…5300種
- 絶滅危惧種も262種
- 新種もたくさん見つかった →



点線の○のところが大浦湾



山の開墾集落の暮らし・藍染料づくり…知名トシさん(2)

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター



山が海岸まで迫り、山から流れ出る小さな川の河口に集落が点在する私たちの地域は、平地面積が狭く、その背後に圧倒的な山林が広がっている。人々にとって山は、制約である(かつては細い山道しかなく、交通や運搬はもっぱら海路に頼っていた)と同時に、暮らしに必要なさまざまな恵みを与えてくれる存在でもあった。

明治政府により琉球王国が滅ぼされ、職を失った士族たちは新たな生活の場所を求めて沖縄各地に散っていったが、王府の杣山(そまやま)であったやんばるの山中に入植した人たちも少なくなかった。彼らは藍の染料づくりや炭焼きなどで少しずつ財を蓄え、平地の土地を買って山を下り、定住するようになった。山中には今も、かつての暮らしの痕跡が残っている。

*

知名トシさんは1912年(大正元年)、そんな山中(汀間と隣の瀬嵩との間)の開墾集落で9人きょうだいの2番目として生まれた。彼女が物心ついた頃には5軒ほどしかなかったが、以前にはもっと多くの家があり、「区長」さんもいたという。家々は山の斜面を切り開いて建てられ、それぞれが段畑にイモや麦を植え、牛、馬、豚、山羊、鶏を飼っていた。家の周りには糸芭蕉や養蚕のための桑の木が植えられ、女性たちはそれで糸を紡いで家族の着物を織った。

トシさんが7~8歳の頃までは山中での藍づくりが盛んで、彼女の両親も藍栽培・染料製造を行っていた。化学染料が普及する以前、藍は貴重な現金収入源だったのだ。製造した藍染料(「藍玉」と言った)は山から下ろし、大浦湾にやってくる山原船に載せた。

藍玉を製造するには、まず、地面に半球

形の穴を掘り、これを漆喰で固めた藍壺(あいつぼ。地元読みでエーチブ)を作る。現在もやんばる山中に点在する藍壺跡は、大きさの違う二つの穴が並んでいることが多い。大きめの方は、刈り取った藍の葉と水を入れて発酵させるためのもの、小さめの方は、できた藍玉を保管するものだと聞いた。藍は日陰を好む植物で、また、染料づくりには豊富な水が必要だ。山はそれに最適な場所だった。水は山の湧水を、青竹を割った樋で引いたという。山中で原型をとどめる藍壺を見たときには、昔の人の智恵に痛く感動したものだ。

*

学齢になると、トシさんは瀬嵩にあった久志小学校に入学した。しかし、山の集落から平地の集落・学校まではあまりにも遠く、細い山道を歩いて片道2時間もかかる。トシさんは入学から1年半ほどで学校に行くのをやめてしまった。両親も、女の子は学校に行かせる必要はないと考えていたようで、9人のうち男の兄弟3人だけを学校に通わせたという。トシさんは家で両親の畑仕事や炭焼きなどを手伝い、芭蕉や木綿で布も織れるようになった。

山での暮らしは「楽しかった」と言うトシさんだが、それが大きく変わったのは数え14歳のとき。先に和歌山の紡績工場に行っていた姉に呼び寄せられ、同じ工場働くことになったのだ。先の宮里弘子さんの項でも触れたが、当時、やんばるから多くの少女たちが、関西を中心に紡績女工として出稼ぎに行っていた。貧しかった親たちにとって娘たちが稼ぐ現金収入は貴重だったし、少女たちにとっても工場のある「都会」は憧れであり、親の反対を押し切り「脱走」してまで紡績に行った人もいる。…続く… (うらしまえつこ)

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さん 6日間のハンスト終了

デニー知事、座い込みテントに激励に

チョイさんの沖縄日記より転載

昨年4月号の会報に原稿を書いていた、沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんが、「遺骨の混じった土砂を辺野古の新基地建設に使うな」と、3月1日～6日まで、沖縄県庁前の県民広場でハンストを行ないました。その最終日の様子を伝えた、北上田毅さんの「チョイさんの沖縄日記」を、一部転載します。※詳しくは「チョイさんの沖縄日記」で検索を。

3月6日(土)、今日は遺骨が混じった南部地区の土砂を辺野古埋立に使わせないことを求めた具志堅さんのハンストの最終日だ。

朝、県民広場の座込みテントに行くと、ちょうどデニー知事が来たところだった。今日は閉庁日、知事もジーパンにトレーナー姿だ。知事は具志堅さんの説明をうなづきながら熱心に聞いている。具志堅さんは、思いが一気に噴き出たように、ひたすら知事に語り続けた。具志堅さんの説明が終わった後、知事は次のように述べた。

「今回の問題について、どういう方向性で結論を出すか、今、一生懸命、考えています。(中略) 具志堅さんが言われるように、これは人道的にやってはならないということなので、それを法律的にどうするか、今、県でもみんなで検討しているところです。今回の場所だけではなく、いろんな場所にもつながるようにしていきたい。

県民の皆さんが、ここまで深い思いをもっておられることを、行政でもしっかりと受け止めていかなければならないと思います。これからも生きている人たちと、鬼籍に入られた人たちの思いがにつながるような道を考えていきたいと思えます。」

正午からオール沖縄会議の集会。オール沖縄会議としての抗議声明が読上げられた。

午後1時半からは今回の行動のまとめの集会が開かれた。今日も県民広場には大勢の人たちが集まってきている。毎日、テントに来る人が増えている。

●具志堅隆松さんに呼応して、北部訓練場ゲート前でも、チョウ類研究者の宮城秋乃さんが、3月1日～6日までハンストを行いました。



知事が激励に



遺骨の説明をする具志堅さん



テントにはいつもたくさんの人が



お医者さんも毎日来てくれた

日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約 《天久学習会》No.9・最終回

テキスト…〈山本章子著〉日米地位協定/在日米軍と「同盟の」70年



2月13日(土)の
学習会の内容を、講師の天久先生に
まとめていただきました。

「終章 日米地位協定のゆくえ — 改定の条件とは」について

弁護士 天久 泰

前回第7章では、90年代以降沖縄で頻発する米軍関係の事件事故と、それらを受けての日米地位協定の改定要求がなされ、ことごとく要求が無視されてきた経緯、2014年の辺野古基地移設反対の立場をとる翁長知事誕生までを学習しました。今回の終章では、著者の山本先生から重点的に取り組むべき課題が提示されます。

1. 米軍はなぜ日米合意を守らないのか (原因1)

96年、日米合同委員会は普天間飛行場の航空機騒音規制措置として、学校、病院を含む人口稠密地域を避けて飛ぶよう合意しましたが守られませんでした。04年8月、沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落。07年8月に普天間飛行場の飛行経路が再設定されましたがこれも守られませんでした。17年12月、宜野湾市緑ヶ丘保育園と、普天間第二小学校に米軍ヘリから部品が落下する事故も発生しました。

日米合意に関する交渉が進捗しない米側の原因として、地位協定を扱う国務省、国防省の担当者のマンパワー不足が

挙げられます。2、3年で配属が変わり引継ぎも不十分です。事件発生時に窓口として対応する米大使館にも、経験不足の人材しか派遣されない実情があります。

武器の売り込みに傾倒するトランプ政権下では、国務省の予算は削減され、このようなマンパワー不足がさらに悪化しました。国防省内で地位協定を担当する政策担当国防次官は、1年間担当者不在という事態に。

2. 「NATO並み」の壁と実態(原因2)

NATO軍地位協定との比較が日米地位協定の改定につながるかは疑問です。国ごとの歴史、時代状況の中で締結、改定されてきたからです。

NATO加盟国は「互恵性」のある米軍地位協定を結んでいます。「互恵性」とは法的に対等な関係。米国並みの民主主義的かつ人権を尊重した国内法を持つことが前提です。この点、日本には国内人権機関の設置、死刑制度の廃止、移民難民の権利保護、ヘイトスピーチなどの人種差別への対応、代用監獄制度、自白強制など人権的課題が多く、このような前提を欠くのではないのでしょうか。

3.米軍の裁判管轄権重視－国内世論対策(原因3)

「地位協定に関する報告書」(15年1月国務省)では、米国政府が地位協定の中で刑事裁判権に最も高い優先度を与える理由を、米兵・軍属が外国で「不公正」な司法制度によって裁かれた場合、米国政府が国民の支持を得て海外に軍を展開できなくなる可能性があるからとします。米国内の「孤立主義」を刺激したくない思惑も米側にあるとみられます。

4.在日米軍基地への国内法の適用

日本では、憲法9条とこれを支持する世論のもとで防衛関連の法整備が不十分でした。そのため、在日米軍基地の運用を国内法でカバーできるのかという問題が生じます。イタリアのように平時において受入国の主権が優先されるような運用は、平時を有事であるかのように喧伝する日本政府のもとでは期待できません。そのような意味で、問われるのは国の安全保障観であり、それを支える世論であるといえます。

5.日米地位協定の改定交渉の条件

改定交渉を行う上での最大の問題は、米国が応じるのかという点です。

過去の交渉で、米国は自国の利益を最大限追求して日本の要求を受け容れず、90年代以降、日本政府は改定交渉

を避け、運用改善により国内からの批判を緩和する措置を講じています。

前述の「地位協定に関する報告書」(15年1月国務省)は、米軍を受け入れている国がその存在を必要としていれば、地位協定に関する交渉で米国が常に優位に立つと分析。憲法9条を支持する代わり、米軍駐留により安全保障を確保するという日本の安全保障政策が変わらない限り、米国が改定交渉に応じる可能性はないでしょう。

上記国務省報告書は、駐留米軍が受入国の主権を侵害しており不要な存在だとその国の国民が考えれば、米国は交渉で優位に立てなくなると指摘するが、日本国内の世論はそのような考えに至っていません。

そのような現状を踏まえ、実現可能性のある取り組みとしては、60年に日米地位協定とともに取り交わされた日米地位協定合意議事録の撤廃という方法があります。在日米軍の特権の根幹に関わる各条項の解釈を取り決めたもので、米軍機の離着陸(3条)や、米軍事故・犯罪の捜査(17条)に関して日米地位協定上の日本側の権利を形骸化している文書です。これは国会に提出されず民主的正統性のない文書であり、04年まで非公開だった文書です。(あめくやすし)

天久先生、8カ月間
ありがとうございました



最終日の、お礼の言葉と花束贈呈では、大きな拍手が、会場と zoom 参加者から、天久先生に送られました。

米軍が好き勝手に振舞っているのは、沖縄だけではありません。
「安保は必要」という方も、「安保はいらない」という方も、是非ご参加ください。

《講演会》

新聞記者が見てきた 日米地位協定の現実

日時…4月10日(土)14:00~16:10

会場…八幡西生涯学習センター(大会議室)

※JR 黒崎駅横・コムシティ3階

参加費…500円

※学生さん・障がいのある方・生活保護制度利用中の方は200円。
証明は必要ありません。受付に「200円で」とお伝えください。



《必見》

DVD「六本木に米軍基地は要らない」上映(20分)。首都の一等地に70年以上も居座る米軍基地と、主権を求める市民の長年のたたかいをご紹介します。



講師
宮城裕也さん
(毎日新聞社)

【講師のプロフィール】：毎日新聞西部本社報道部記者。1987年沖縄県宜野湾市生まれ。沖縄国際大学卒業後、2011年に入社し青森支局を経て17年4月から現職。青森では米軍三沢基地を、現在は米軍岩国基地(山口県)や九州、沖縄の米軍・自衛隊基地問題を取材する。
学生時代まで過ごした沖縄での暮らしや記者として見た「本土」の基地の町の現場を通して、日米地位協定は暮らしの延長にある生活問題ということをお話します。

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会
八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

《署名を提出しました》

下記の署名を、提出しました。

- 馬毛島への米軍空母艦載機陸上離発着訓練(FCLP)の移転に反対する署名…135 部
- 日本学術会議会員の任命拒否の撤回を求めます(要請)…35 部

直接提出された方もたくさんおられると思います。ご協力、ありがとうございました。

《賛同団体に名を連ねました》

- 会報の 2 月号にも、呼びかけの用紙を同封しましたが、辺野古土砂北九州は、「平和をつくり出す宗教者ネット」の「辺野古新基地建設の、沖縄戦激戦地の土砂使用計画をただちに撤回」の呼びかけに、賛同団体として名を連ねました。また、世話人も賛同者として、名を連ねました。

《土砂全協では》

- 近く予想される玉城知事による「(辺野古工事変更申請)不承認」に連帯し、政府に辺野古新基地断念を迫る行動の一環として、政府交渉と院内集会を設定する準備が進められています。この行動は、当会も加盟している「土砂全協(辺野古土砂全国連絡協議会)」をはじめ「総がかり行動実行委員会」「平和をつくり出す宗教者ネット」「止めよう！辺野古埋立て国会包囲実行委員会」の四団体が共同で、4 月 21 日に行なう予定です。

《求む!発送作業お手伝い》

- 世話人会では、毎月第 2 水曜日の 13 時から、会報の発送作業を行っています。1 時間半～2 時間で終わります。基本的に、小倉北区大門の「北九州生涯学習総合センター」で行っています。お手伝いしていただける方は、ご参加ください。※たま～に、変更になることもありますので、裏表紙下の連絡先に、確認のお電話をいただくと、安心です。

《街頭宣伝にご参加ください》

- 当会では、毎月第 4 土曜日の 16 時～17 時頃まで、小倉駅前街頭宣伝をしています。プラカードや写真を持っていたけると助かります。よろしく願います。※8 月はあまりにも熱いので、毎年街頭宣伝はお休みしています。



《辺野古土砂北九州・今後の予定》

- 3月27日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時
- 4月07日(水)…《第8回世話人会》14時～ 生涯学習総合センター(小倉北区大門)
- 4月10日(土)…《講演会・新聞記者が見た地位協定の現実》14時・コムシティ3階
八幡西生涯学習センター・大会議室
- 4月14日(水)…《会報発送作業》13時～ 生涯学習総合センター(小倉北区大門)
- 4月24日(土)…《小倉駅街頭宣伝》16時～17時

編・集・後・記

昨年6月から始めた「日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約」の連続学習会が2月に終わった。世話人会のレジュメを見ると、昨年2月初めの会議で、連続学習会の提案がされている。ダイヤモンドプリンセス号のニュースが流れ始めた頃だ。3月の世話人会のレジュメには「5月開始の予定だが、コロナの関係で6月開始も考えられる。判断は4月20日に行う」とある。

結局第1章の開始は6月。「先生の話」「質問」「回答」を会報で取り上げ、1章を終えるのに3か月かかった。初めて会場に集まって学習したのは9月。その後、会場とzoomの2本立てになった。1月の学習会は大雪の日だった。

コロナ禍での学習は、感染しないよう気を使ったが、終わってみると「あっという間」。学習に関連した本も何冊か読んだ。世話人会では今後、地位協定の見直しの意見書提出を、北九州市議会に求める行動を予定している。

本来なら、学習の報告は、世話人会の方でまとめなければならないのに、毎月天久先生に甘えてしまった。おんぶにだっこの8か月間。天久先生本当にありがとうございました。

《辺野古土砂北九州の口座》

【辺野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会」

【お問い合わせ】 大野保徳 090-4482-0043 までお気軽に。

※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。



「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

kanpanerura888k@gmail.com (20年9月からアドレス変更)